

事業概要

- 東北の宿泊施設や観光施設等と連携し、自転車シェアリングサービスを展開。
- 自転車の利用料金等で維持費を賄い、持続可能なサービスの展開を目指す。



課題

- ・ 東北は観光コンテンツが点在しており、観光地へのアクセスに課題。
- ・ 宿泊施設や地域の観光コンテンツを結ぶ二次交通の充実が必要。

事業目的

- 自転車シェアリングの導入やモデルとなるサイクリングコースの提案を通じた旅行者による地域内の周遊促進

主な取組

自転車シェアリングサービスの導入

- ・ 青森県及び岩手県内の7市町村の宿泊施設や観光施設で自由に乗り降りができる決済機能/GPS機能を搭載した自転車を配備

(参考) 設置箇所数 : 23か所
設置台数 : 90台

走行情報の収集・分析とサイクリングルートガイドの作成

- ・ 設置した自転車の走行情報をリアルタイムで収集・蓄積し、観光客の移動経路を分析
- ・ 上記に基づき、モデルとなるサイクリングコースを作成し、その内容をweb上で発信(地図情報アプリを用いた経路案内の利用が可能)



成果目標

○ 自転車利用回数: 1230回

事業実績

○ 自転車利用回数: 676回

取組のスケジュール

- 自転車シェアリングサービスの導入(5月～7月)
- 自転車シェアリングサービスの提供(8月～3月)
- サイクリングルートガイドの作成(8月～12月)
- その他
 - ・「東北自転車旅」をテーマとするチラシ、パンフレット、webサイトの製作と情報発信(8月～12月)

成果

- ・東北の宿泊施設や観光施設等に自転車シェアリングを導入し、公共交通機関が十分に整備されていない区間をつなぐ二次交通手段として、利用者からも高い満足度を得た。

設置場所別自転車利用実績

- ・【青森県】青森市：41回、田子町：67回、三戸町：52回
- ・【岩手県】平泉市（一関市含む）：382回、遠野市：84回、久慈市：43回

事業終了後の動向

- ・平成28年度における利用動向を踏まえ、自転車設置箇所や設置台数の見直しを実施。
利用が好調な平泉・一関エリアについては配備台数を増加させるとともに、新たに2か所で自転車を配備。平成29年度9月までで815回の利用実績)
- ・上記見直しによる利用台数の動向を注視するとともに、宿泊施設（宿泊プラン）との連携を強化。